

鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (平成29年度／大手民鉄16社)

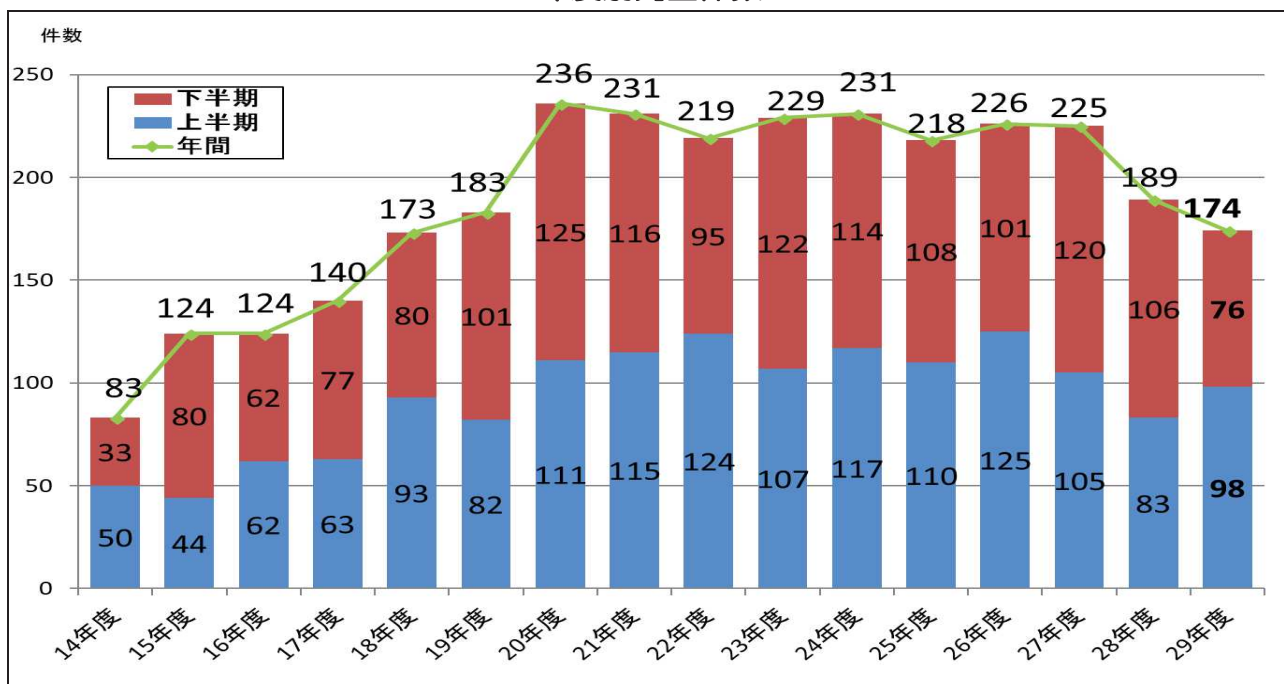
日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に発生した駅員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は174件（上期98件、下期76件）と、前年度に比べて15件減少し、平成18年度以来11年ぶりに180件を下回りました。

暴力行為が減少した要因については、全国の鉄道事業者による啓発ポスターの掲出、警察官の巡回や警備員の配置、駅係員の研修等の取り組みが浸透するとともに、報道機関等を通じて鉄道係員に対する暴力行為が発生している現状についてお客さまに認知されたことが大きく寄与したものと考えられます。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が酩酊されたお客さまに近づいた時や理由なく突然に行われるケースが多く、時間帯については深夜帯（22時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



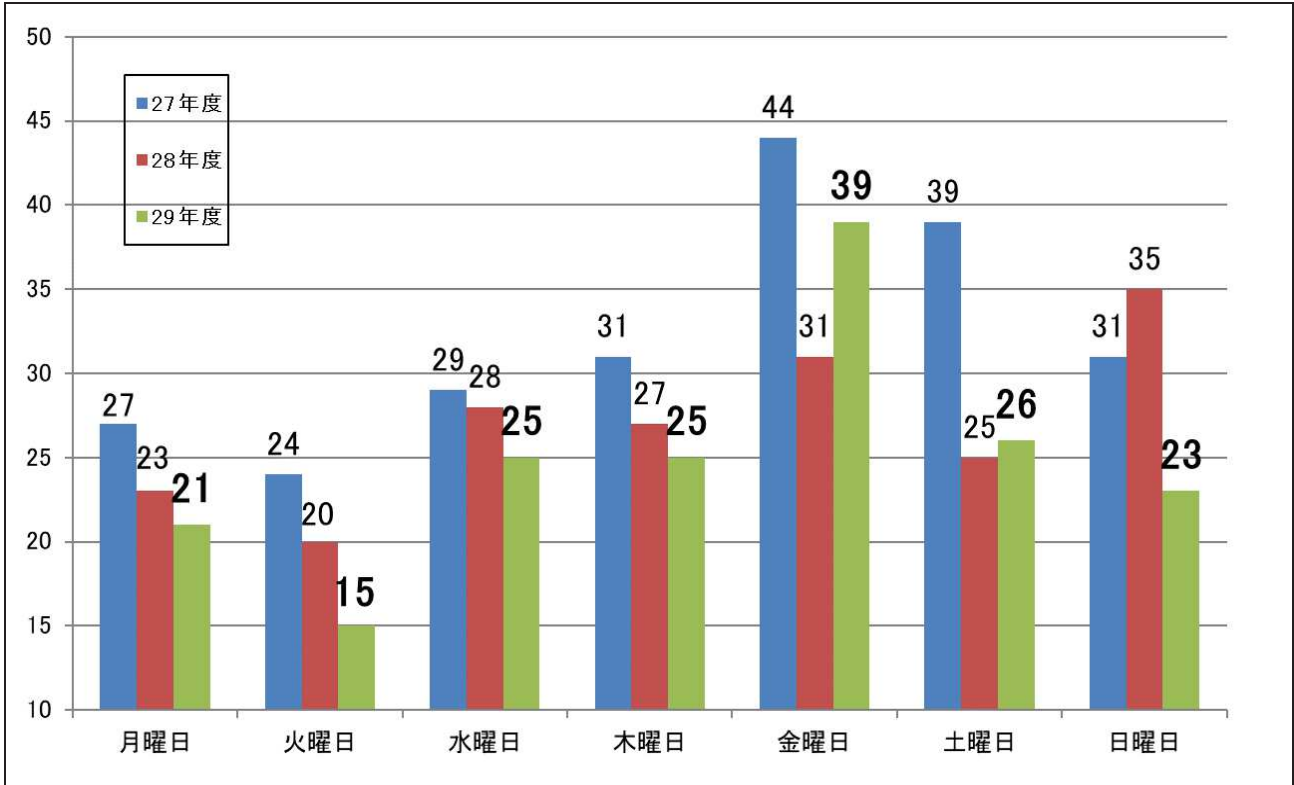
(ご参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

- 1.曜日別 発生件数
- 2.時間帯別 発生件数
- 3.主な場所別 発生件数
- 4.主な契機別 発生件数
- 5.加害者年齢
- 6.加害者の飲酒状況
- 7.具体的事例

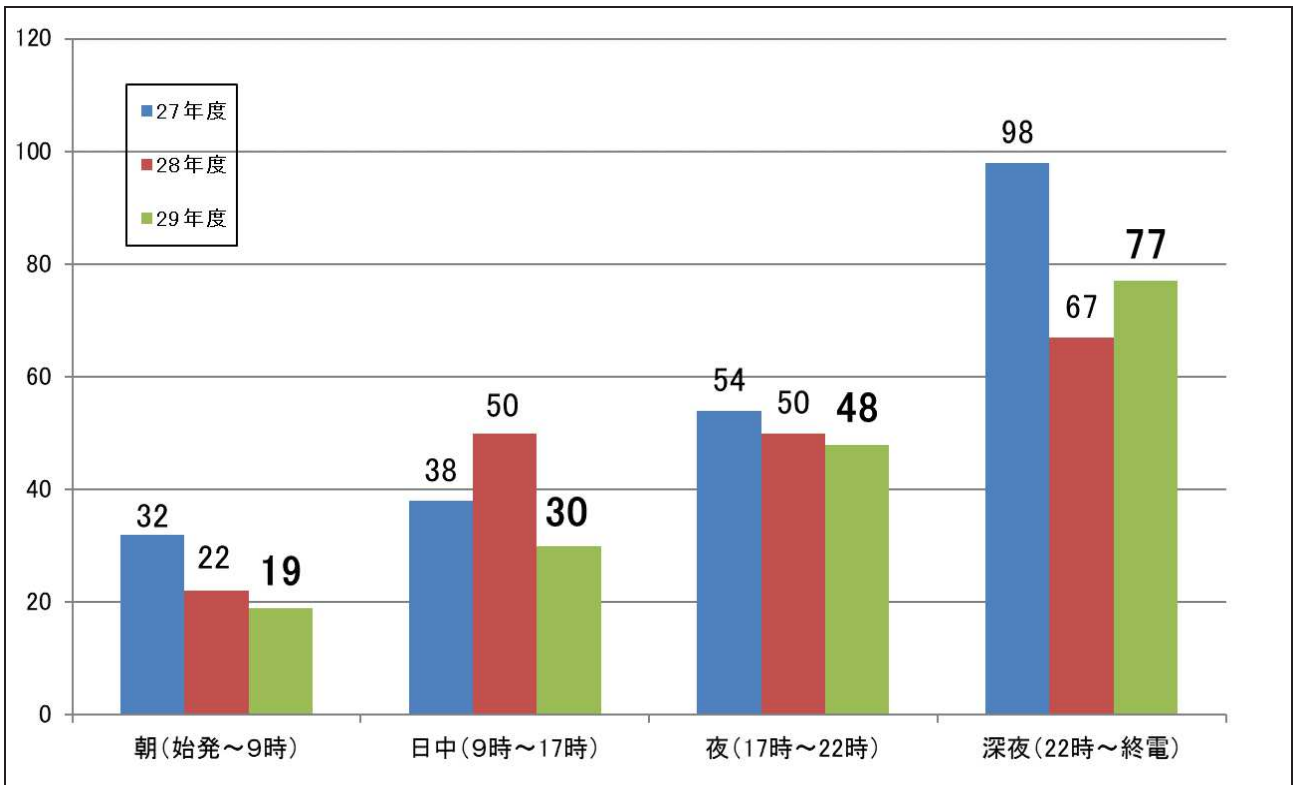
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等（詳細）

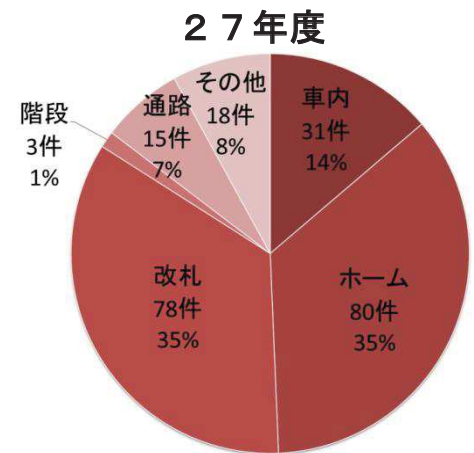
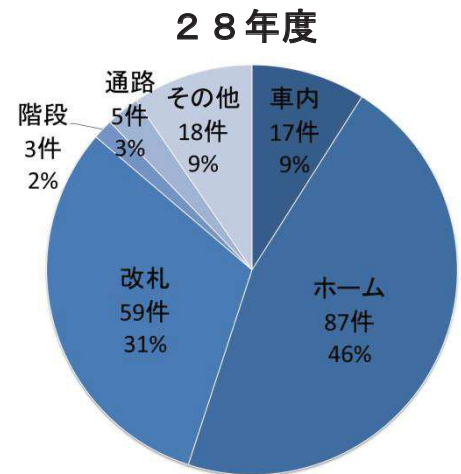
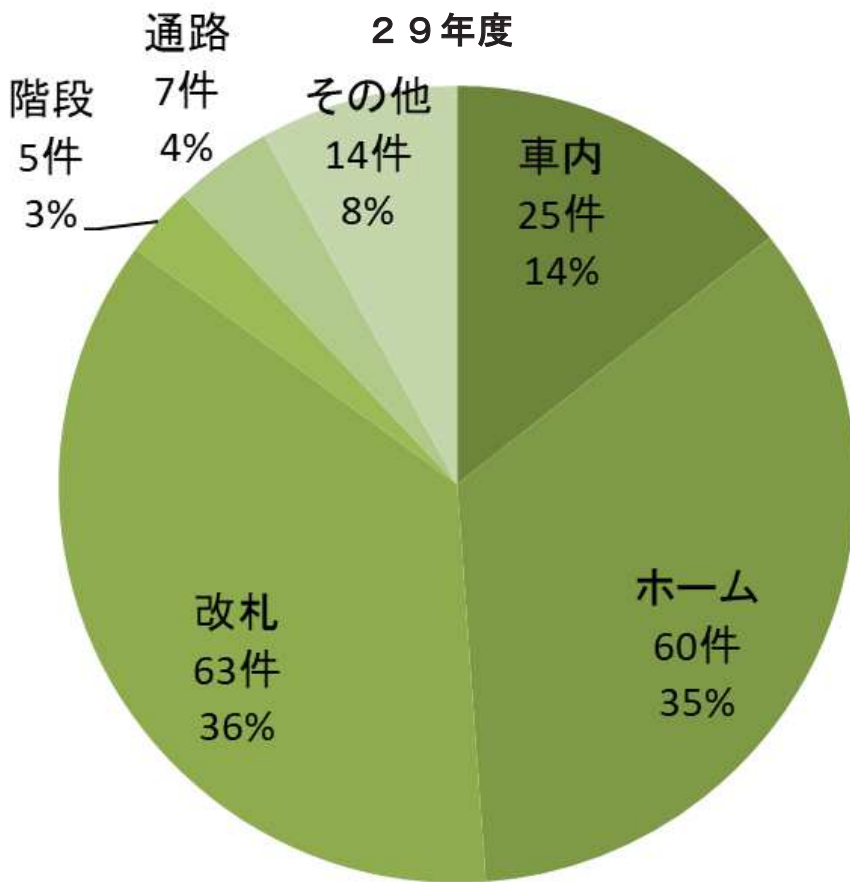
1. 曜日別 発生件数



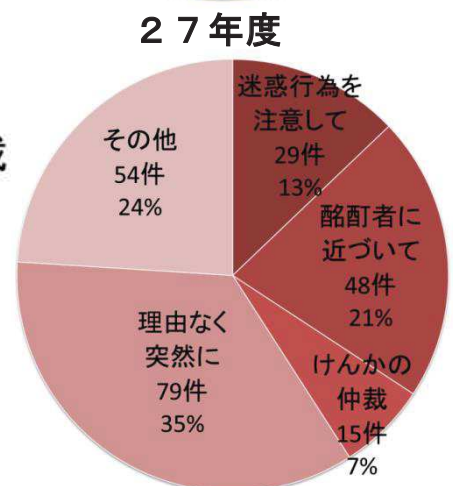
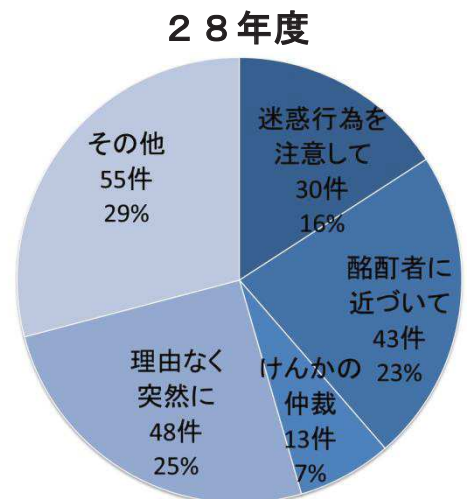
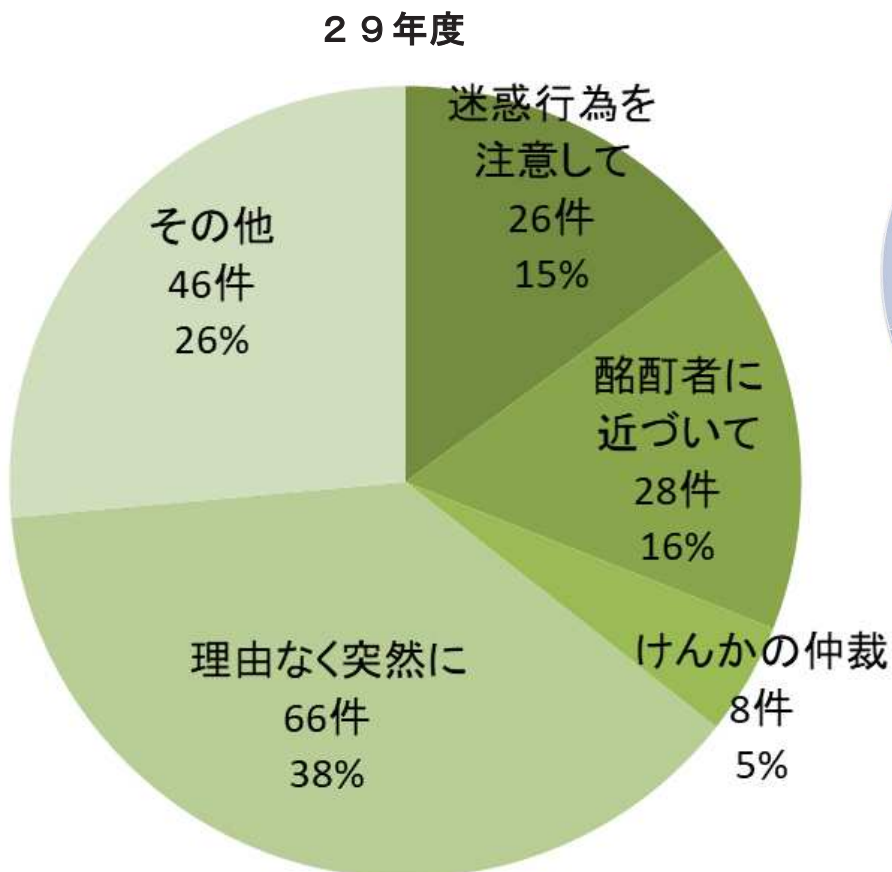
2. 時間帯別 発生件数



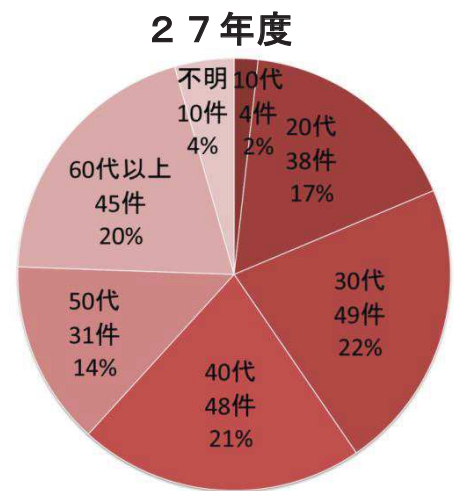
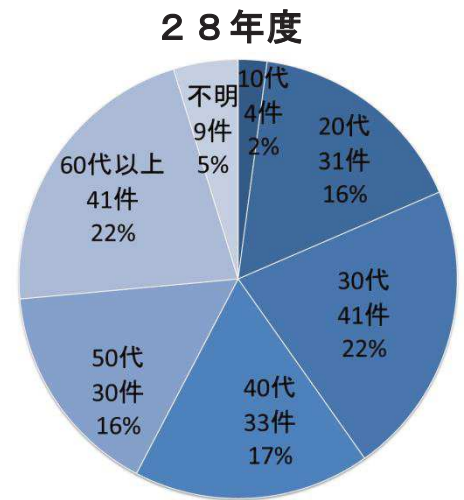
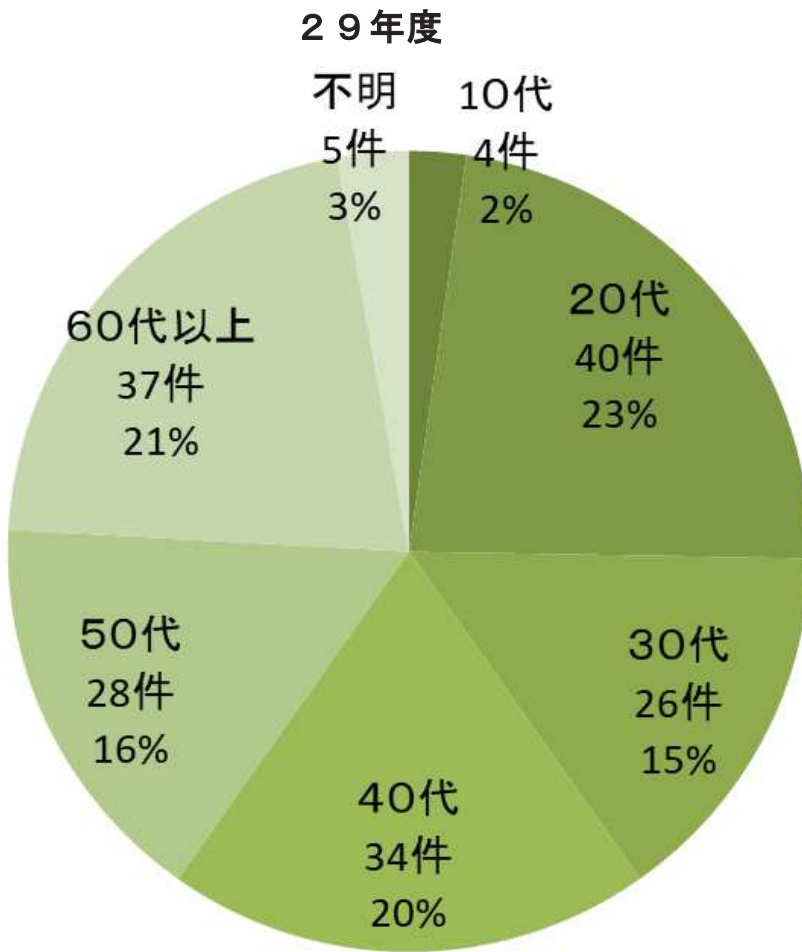
3. 主な場所別 発生件数



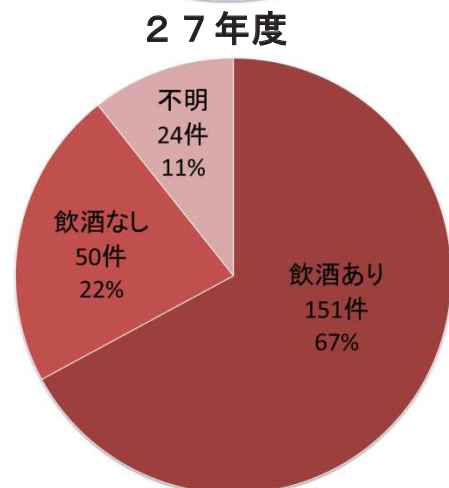
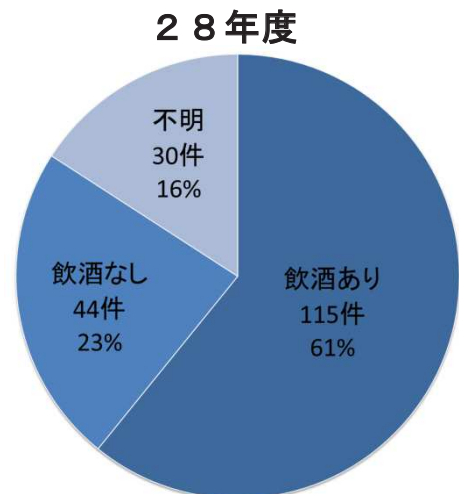
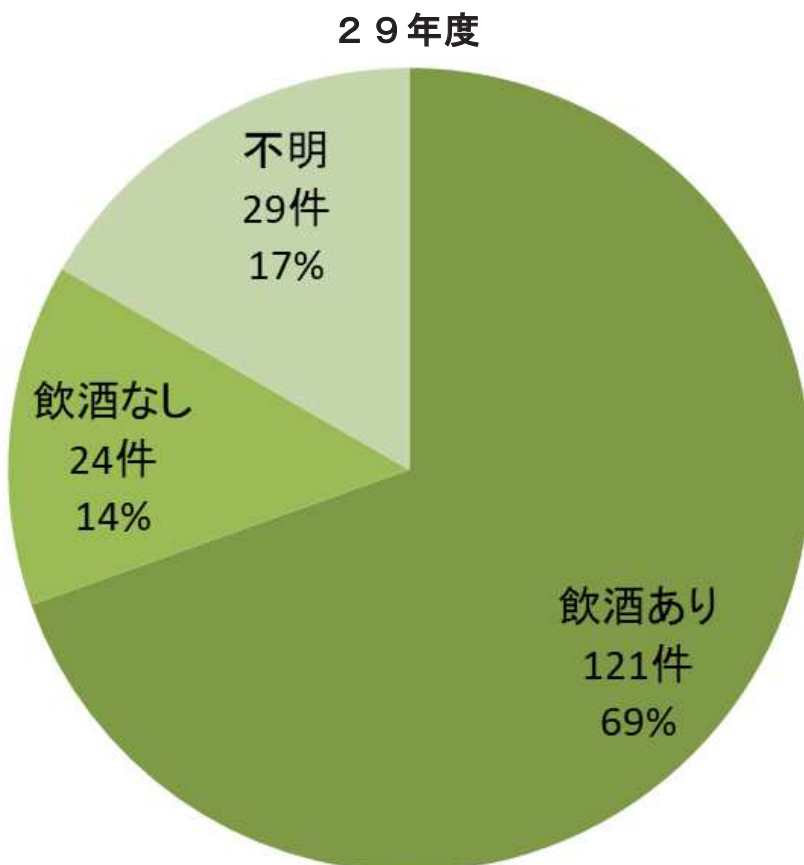
4. 主な契機別 発生件数



5. 加害者年齢



6. 加害者の飲酒状況



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	火曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	70歳代	飲酒	あり

駅停車中、酩酊状態の加害者が車内において携帯電話で大声で通話していたため、車掌が注意した。その後、注意されたことに腹を立てた加害者はホームで列車監視中の車掌のもとに来て、車掌は殴られた。

【事例2】

曜日	月曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	けんかの仲裁	年齢	70歳代	飲酒	あり

車内で乗客が暴れているとの通報を受け、当該列車の到着をホームで待っていた。当該列車到着後、降車した乗客2名がもみ合っているのを認めたので、被災者が仲裁に入り事情を聞こうとした際、突然殴られて負傷した。

【事例3】

曜日	日曜日	時間帯	朝（始発～9時）	場所	階段
契機	理由なく突然に	年齢	20歳代	飲酒	あり

車内点検中に同僚の駅係員が酩酊状態の男性を発見し、車掌と被災者と3名で降車させた。その後、ホーム上で横になっていた男性を車いすでご案内しようとする、急に立ち上がりエスカレーター方向に歩き始めた。途中でスマートフォンを落としたため、被災者が後を追ってエスカレーター上で手渡すと男性に睨みつけられ、その場を離れようと振り返った直後に右脇腹を蹴られた。

【事例4】

曜日	金曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	20歳代	飲酒	あり

当駅止まりの車内に寝ていた加害者に被災者が声をかけ、ホームに降りてもらった。ホームのベンチで寝てしまったので声をかけたところ、胸を平手で叩かれた。その後拳で2回顔を殴ってきた。